

教材教具名	ふりふりペットボトル	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心の幅を広げる。</li> <li>・一人で過ごせる時間を増やす。</li> <li>・感覚あそび</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- ・ペットボトルを上下に振って、中のゼリーボールが落ちる様子や手に伝わる振動を楽しむ。

<工夫点>

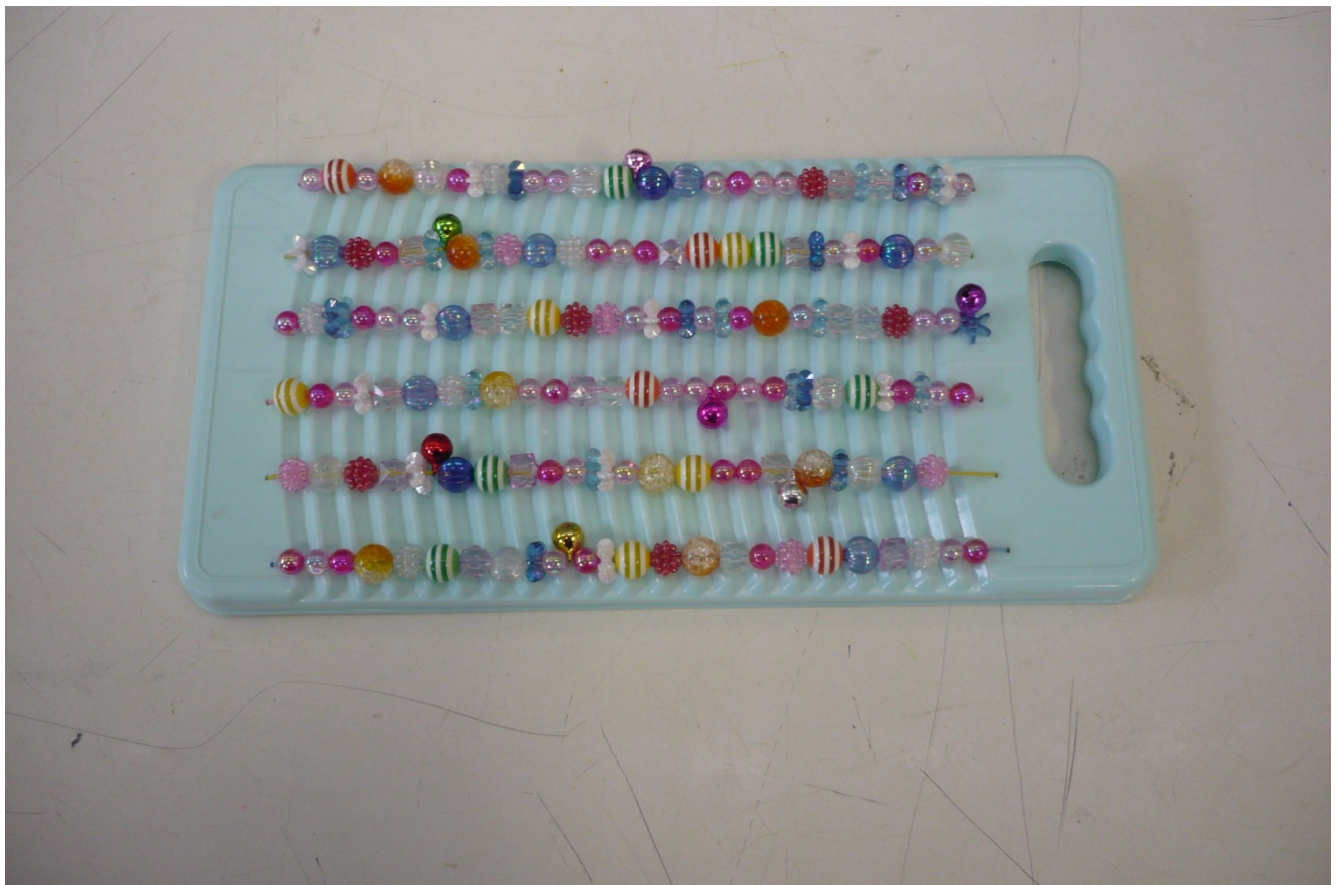
- ・本人の好きな色のゼリーボールにした。
- ・投げても大丈夫なようにペットボトルにひも、机にカナビラをつけて固定した（安全面への配慮）。
- ・振っても見た目のきれいさ、おもしろさを損なわないために、芳香剤ゼリーではなく（これは泡だって見えづらくなる）植物用の栄養剤として100均にあったゼリーボールを選んだ。

<効果>

- ・喰いつきは  だったが、3～4回で飽きてしまった。

教材教具名	ジャラジャラ洗たく板	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心の幅を広げる</li> <li>・一人で過ごせる時間を増やす</li> <li>・感触あそび</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手でなでるようにビーズを洗たく板にこすったり、ビーズをはじいたりして、音やその感触を楽しむ。

<工夫点>

- ・様々な形や大きさのビーズを使ったことで、いろんな音や感触が楽しめるようにした。

<効果>

- ・初回のとびつきは良かったものの、2～3回で飽きられてしまいました。

教材教具名	コルクのプットイン	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高めるとともに、最後まであきらめずに課題に取り組む力を身に付けることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 並べてあるコルクをタッパの中に入れる。

<工夫点>

- コルクをバラバラに置いておくと遊ぶことがあったため、入れ物をゴムで区切って並んで立つようにした。

<効果>

- 一つずつ持って入れることでつまむ力がついた。



教材教具名	ストローのプットイン	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	個別課題（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>手元を見てストローを入れられるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 太いストローを真ん中の穴に1本ずつ入れる。
- 慣れてきたら真ん中の穴はテープ等でかくし、細いストローをまわりの穴に入れる。

<工夫点>

- 片手で持てる大きさのケースにし、両手を使わせるようにした。
- 穴のまわりを赤くすることで、入れる場所をわかりやすくした。

<効果>

- 手元を見ないと入れられないことが少し理解できたようだった。
- 細めのストローを一人で入れられた。

教材教具名	ストローのプットイン	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストローに合う穴を探し入れることで手先を見る力を養う。</li> <li>・一人で課題をやる習慣をつける。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・箱の中からストローを取り出しタッパの中にプットインする。

<工夫点>

- ・タッパのふたにいくつか穴を空け、一つだけストローに合う穴の大きさにした。

<効果>

- ・ストローの大きさに合う穴を探して、色ごとに入れている様子が見られた。
- ・一人でも集中して取り組むことができる課題だった。

教材教具名	ブロックのプットイン	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>立方体のブロックを、穴に角度をあわせひとつずつ入れる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ブロックをほぼ同じ大きさの穴をあけた缶に入れる。

<工夫点>

- ブロックが入ったときに音が鳴るように缶を使用した。
- ブロックはひとつずつ持って入れられるように、スチロール板に穴をあけてはまるようにした。

<効果>

- ブロックや缶を固定したことでひとつずつプットインすることができた。

教材教員名	ホース入れ	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	国語数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 穴を注視してホースを入れる。</li> <li>• 手指の巧緻性。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 長短様々な長さのホースをトレイに2~3個置き、穴へ入れていく。

<工夫点>

- フタを硬い素材にしたことで、カズクではできないようにした。
- ホースの長さに変化をつけたところ。

<効果>

- 手もとをよく見るようになった。
- ホースの上下を替えて入れる (ホースがわん曲しているため入れやすさがちがう) などの工夫が本人から見られるようになった。



教材教具名	ベリベリポンッ！	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業へのスムーズな入り方（気持ちの切りかえ）。</li> <li>• 手指の巧緻性。</li> <li>• 集中力。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- 様々な形、強度のマジックテープをはがしてBOXへ入れていく。  
（「ボルダリング」からヒントを得た）

<工夫点>

- 様々な素材を利用したり、マジックテープの大きさを変えたことで、難易度をかえた。
- BOXにフタをしたことで、入れた物への執着がなくなり、はがして入れることに集中できた。

<効果>

- これを机に置くと、自然と歌絵本を手放して、ベリベリとはがし始めた。スムーズな課題への導入としては  効果絶大です。



教材教具名	木の輪挿し	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語・数学 (中学部)

ねらい

- 物を取って移し入れることができる。
- 正中線交差ができる。

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 固定された木の輪を取り、別の棒に挿す。

<工夫点>

- 木の輪をまとめて提示すると全てつかんでしまうことがあるため、一つひとつ分けて固定し、ひとつずつ取らせるようにした。

<効果>

- まとめて木の輪を取ることはなくなり、一つひとつを棒に挿すことができた。
- 物を見て手を伸ばし、取ったり通したりする力が伸びた。

教材教具名	ふたを開けて取り出そう	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指に力を使って課題に取り組む。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- タッパのふたを開けて、中にある鈴や紐を取り出す。

<工夫点>

- 少しの力で開く蓋や、力を入れないと開かない蓋など3種類のタッパを用意し、少しずつレベルアップする。
- 開けるときに、指を置く位置が分かりやすいように印を付けた。

<効果>

- 開けやすいふたから取り組むことで、開けにくいふたにも諦めず取り組むことができた。また、着替えなどでズボンの裾を引っ張る力が付いてきた。



教材教員名	ひもを取り出そう	分類	操作の学習 - 目と手の協応
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>両手を使って少しでも長い時間紐を引っ張り続けることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・容器からひもを引っ張り出す。

<工夫点>

- ・少しでも長い時間、ひもを持ちながら引っ張ることができるように長いひもを用意した。
- ・本人の意欲を高めるため、透明の容器に入れて紐が入っているの分かるようにした。

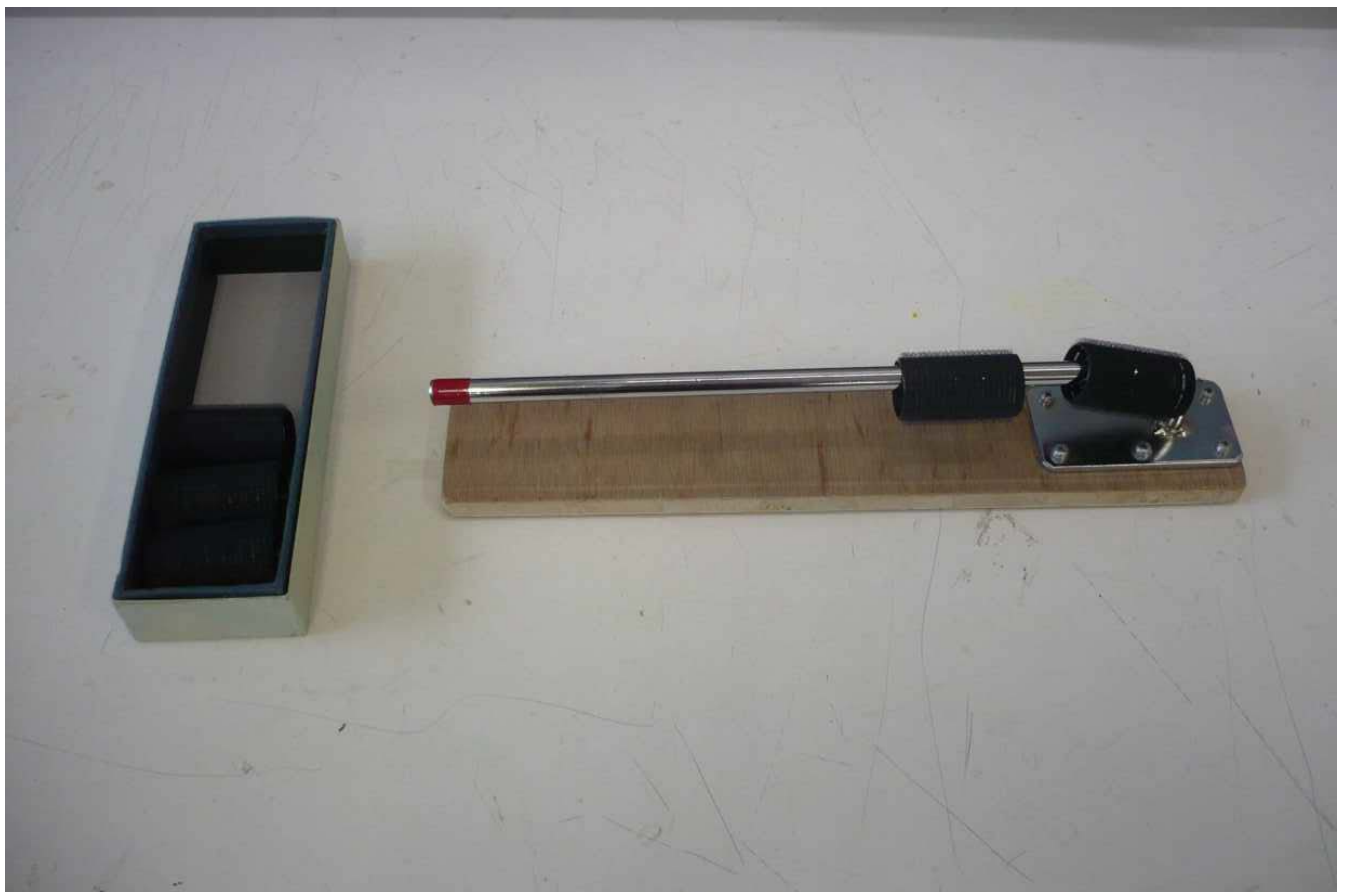
<効果>

- ・ひもを少し出したところで諦めてしまうことがあるが、まだひもが残っていることを目で確認すると、勢いよく引っ張りだすことができた。また、着替えのときに上衣の袖の部分を引っ張って脱ぐことができるようになってきた。



教材教員名	リングの水平棒通し	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・手元を注視して取り組む。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台座を横長になるように机に置き、黒のカーラーを銀の棒に通していく。

<工夫点>

- ・棒の入り口にカラーテープを巻き、目立たせた。
- ・注視して取り組むよう、しばらくしたら台座の向きを変える。

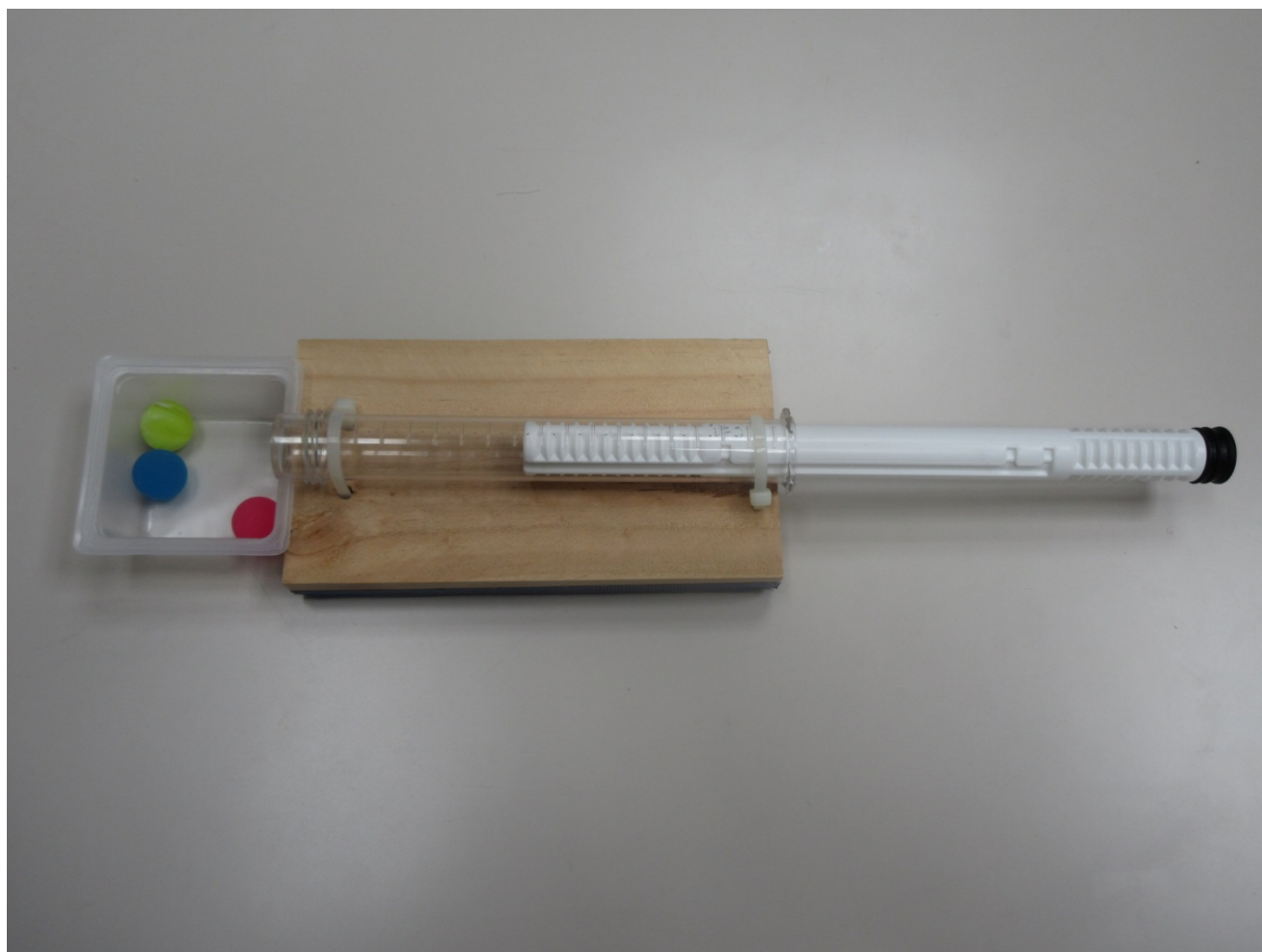
<効果>

- ・カーラーの穴が大きめなので、ストレスも少なく、積極的に取り組んでいた。手元の注視がよくできていた。



教材教具名	棒で押してとる	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的に棒を一方向に操作する。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

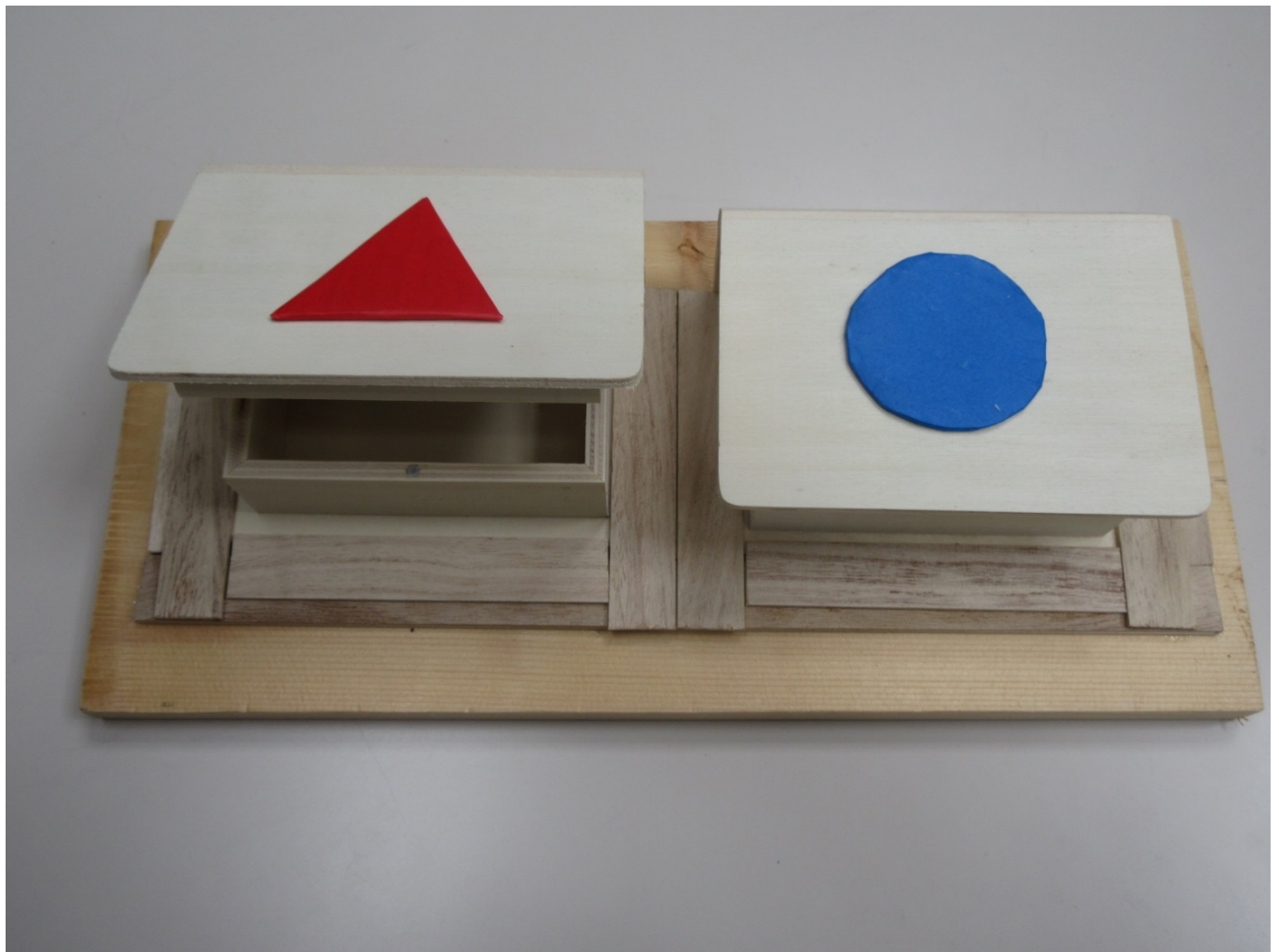
- 筒の中に児童生徒の好きなもの (球、紐等) を入れる。棒を持ってスライドさせ好きなものを取り出す。

<工夫点>

- 筒を土台に固定し、棒の操作方向を学習しやすくした。

教材教具名	宝探し	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・欲しい物の入った箱を記憶して、探し取り出す。(遅延学習)		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・二つの箱のうちの一つに、好きな物（紐、ボールなど）を見せながら入れる。  
箱を選んで好きな物を取り出す。（できるようになったら、箱の位置を変えて選択する）

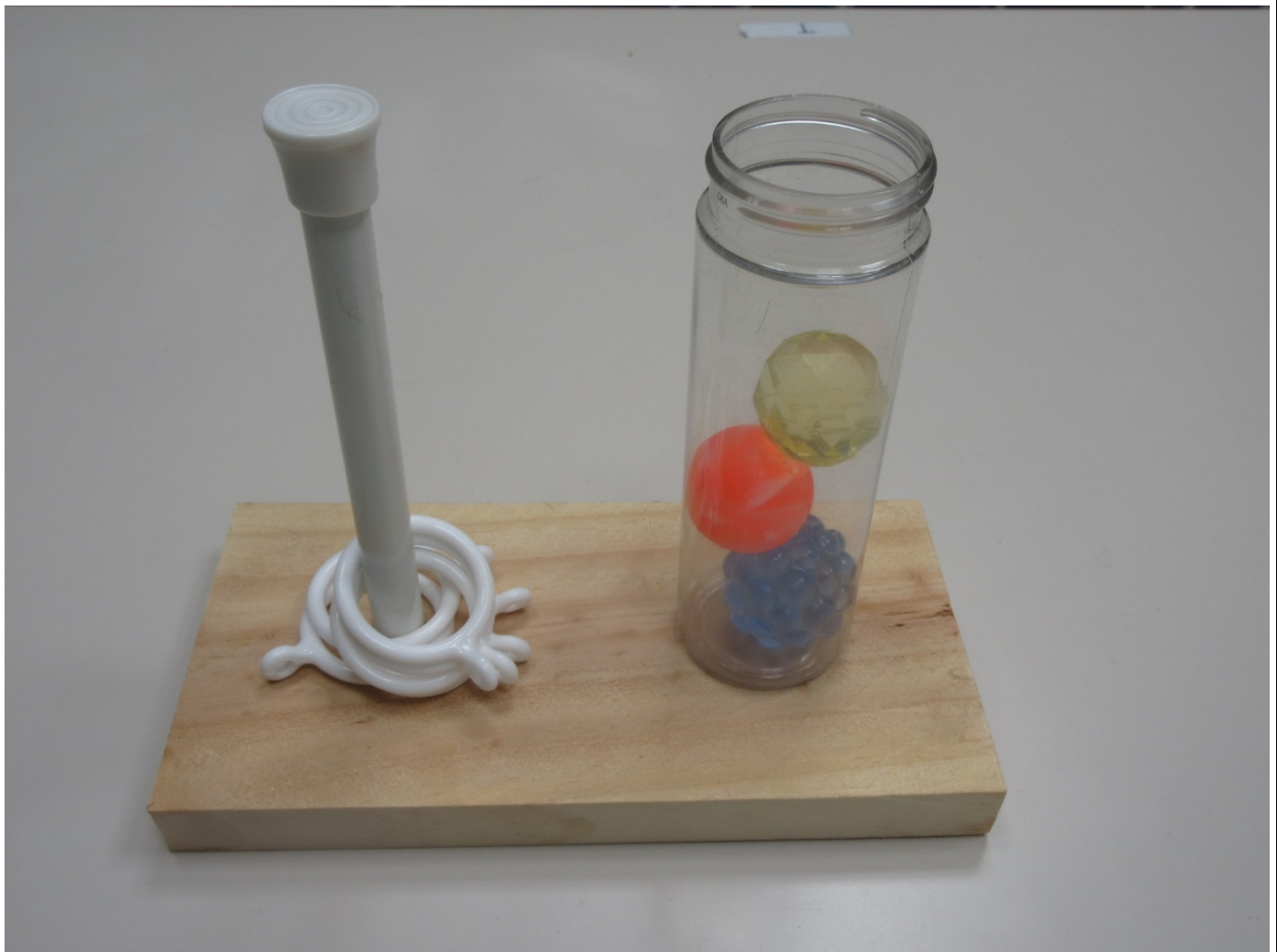
<工夫点>

- ・箱を記憶の手掛かりに、丸と三角を色を違って印をつけた。
- ・箱を開ける操作の方向を学習しやすくするために箱を土台に固定できるようにした。またスライドして取り外しできるようにし、左右の入れ替えを可能にした。



教材教員名	ボールと輪の弁別	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・目で見えて判断し、操作することで正解を確かめる (目と手の協応)		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・リングは棒にさし、ボールは筒に入れる。  
逆には入らないため、操作することで正解を確認することができる。

<工夫点>

- ・大きさを工夫し、逆に入らないようにした。

<効果>

- ・リングの棒差しやプットイン教材がそれぞれ可能な児童に使用。  
目で見ることが少なかったが、見て確認するようになった。

教材教員名	ビー玉とおはじきの弁別	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 入り口の形を見たり、はめたりして、正しい方へ ビー玉とおはじきを弁別する。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 容器を生徒の前に置き、トレイにビー玉やおはじきを3～4個ずつ置く。

<工夫点>

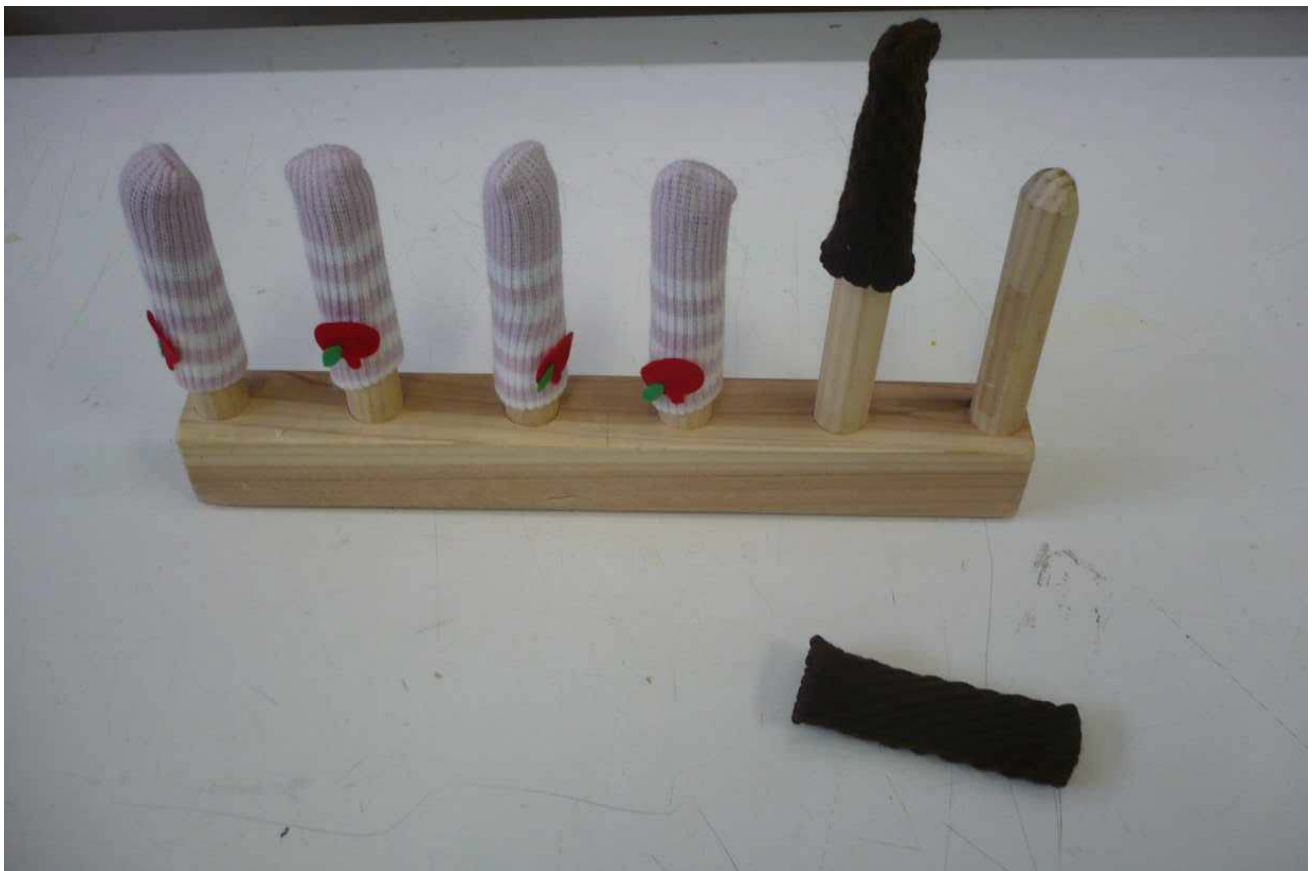
- 慣れると見ないで取り組むため、しばらくしたら容器の向きや位置を変えたりして「弁別」させるようにした。

<効果>

- 「弁別」という観点から言うと×。フタの素材がやわらかいため、ビー玉の穴におはじきが入ってしまう。しかし、本人が気に入っていたため、さいごは「集中してとりくむ」

教材教員名	棒にくつ下をはかせよう	分類	操作の学習 — 目と手の協応
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・手指の巧緻性		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・くつ下（机の足保護用）を1つずつ渡し、棒にかぶらせていく（必要に応じて支援）。

<工夫点>

- ・くつ下を何種類か用意し、難易度を変えた（ex.茶色はゆるいので広げやすい。りんごはきつめで力が必要。）

<効果>

- ・棒を横並びにしたせいで、くつ下をかぶせる際に左右の手が棒にあたってしまい、やりづらい。改良が必要。



教材教具名	キャップはめ	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>指先を使って作業に取り組む。</li> <li>キャップと同じ絵柄の場所に、キャップをはめて入れることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- キャップ、ボトルのケースと、できたものを入れる絵柄の付いたケースを机の上に並べる。
- ケースの蓋を開けて、キャップとボトルを組み合わせて絵柄ごと分けてケースに入れる。
- 全て終わったら、「できました」と伝える。

<工夫点>

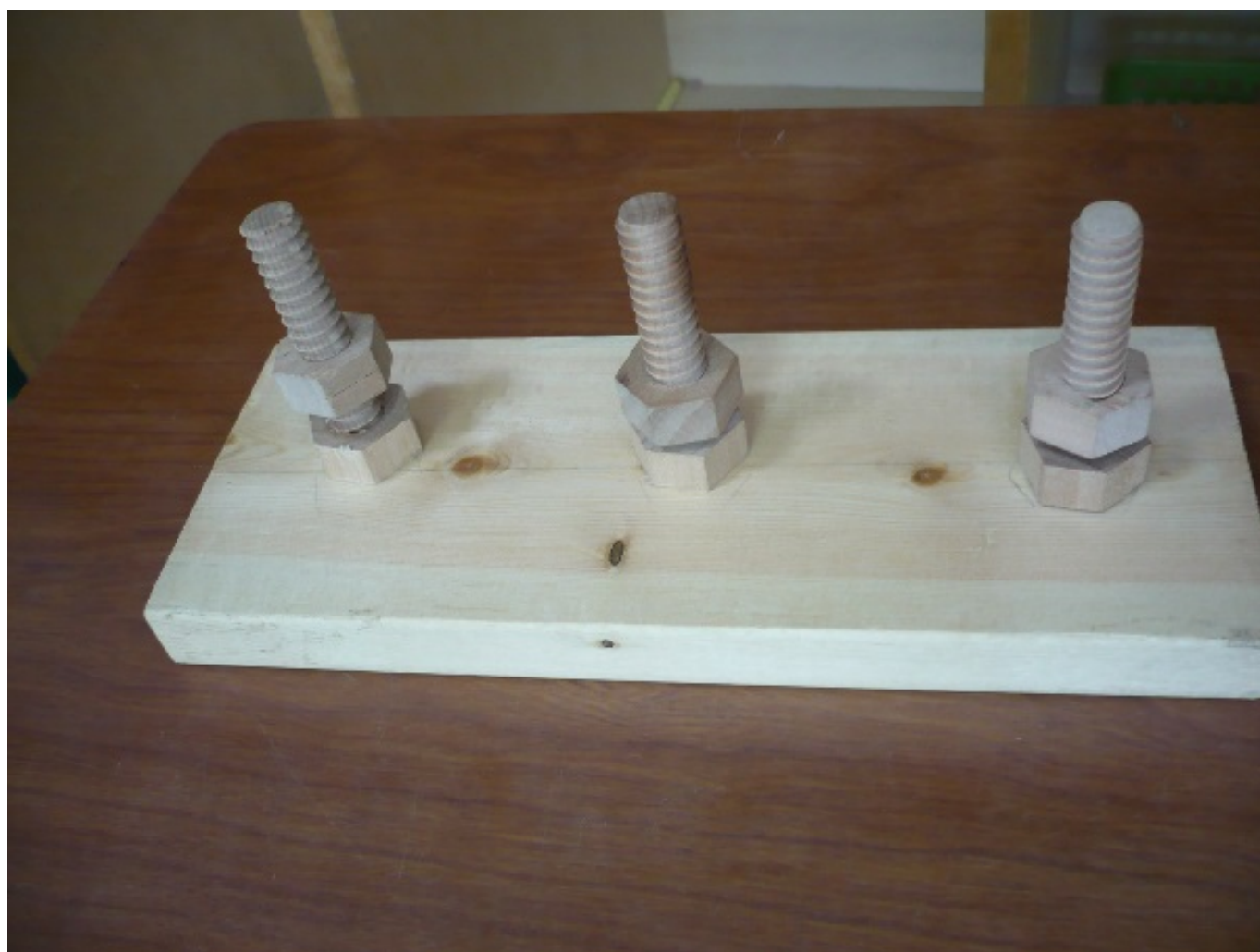
- 色や形の違うキャップを使用し、見分けやすくした。
- 手元に注目する場面を多く設定した。(キャップをボトルにつける場面、ケースに入れる場面)

<効果>

- 好きな動物のキャップもあり、楽しみながら取り組んでいる。
- キャップを見ていたい気持ちもあり、少しずつ長い時間手元に注目するようになってきた。

教材教具名	ボルトのナットしめ 1	分類	操作の学習 - より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高めるとともに、最後まであきらめずに課題に取り組む力を身に付けることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 利き手でナットを下に付くまで回し締める。
- 左から順に行う。

<工夫点>

- ボルトを重めの木の板に貼り付け固定した。木工用ボンドだけで固定すると、回している時に取れることがあったので、裏からネジを打って固定した。

<効果>

- 指先をよく見るようになった。
- 家庭でペットボトルのふたを回すようになったようである。

教材教具名	ボルト・ナット	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・「ねじる」手の操作の学習		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・ボルトとナットを合わせてねじって締める。
- ・シルエットをかたどったケースに入れる。

<工夫点>

- ・ナットをしっかり締めないとケースに入らないようにした。これによりねじりが不十分であることに自分で気がつけるようにした。



教材教具名	ねじしめ	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後まで ねじをしめることができる。</li> <li>一つの作業に最後まで集中することができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ねじの青い部分が見えなくなるまで ねじをしめる。
- 4本ねじをしめる

<工夫点>

- 最後まで ねじをしめたことがわかりにくいため、ねじを青く塗り、しまったことが割りやすいようにした。
- 大きな木のねじを使用し、飽きずにまわし続けるようにした。

<効果>

- 最後まで飽きずに4本取り組むことができるようになった。

教材教具名	ワイヤー・ひも通し（初級）	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手を使った作業</li> <li>・手指の巧緻性</li> <li>・手元の注視</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・台座を固定（裏側マジックテープ）し、手渡されるリングを通していく。

<工夫点>

- ・①ソフトワイヤー → ②ソフトワイヤー + 先端のみロープ → ③（最終的には）ロープのみと段階を踏んだこと。
- ・ソフトワイヤーとヒモが取り替えられる台座にしたこと（2WAY）。
- ・台座を固定させたことでワイヤーやロープの持ち手を安定させたこと。

<効果>

- ・台座を固定したことで手元の安定さが増し、取り組める時間が長くなってきた。

教材教員名	ファスナーの開閉	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・手指の巧緻性		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- ・片方の指をリングにひっかけ、逆の手で袋を持たせてファスナーの開閉をする。

<工夫点>

- ・中に本人の大好きな歌絵本を入れ、開けるモチベーションにした。
- ・ファスナーにリングをつけて指をひっかけやすくした。
- ・袋内にかた紙を入れて安定させた状態で取り組めるようにした。

<効果>

- ・中に大好きな歌絵本を入れたことがモチベーションになり、とてもよく取り組んだ。

教材教員名	洗濯ばさみ外し	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯ばさみを引っぱらず、押し取り外す。 (道具の正しい使用方法の理解)</li> </ul>
-----	---

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 動物や食べ物についての洗濯ばさみを外してBOXに入れる。

<工夫点>

- 力ずくで引っぱっても取れないように、洗濯ばさみにビスをつけ台紙に鳩目をして引っかけることで、しっかりと押し口先を開かないと取り外せないようにした。
- 取り組むモチベーションとして、カラフルに可愛くした。

<効果>

- △ ビスを取り付ける関係で洗濯ばさみの素材を木材にしたが、大きいものがなく小さく、開きがせまいものになってしまった。そのため、開閉の差が分かりづらく、つかみづらさもあったため、生徒の実態にいまいち合っていなかったと反省。また、台紙を持ちながら外すというのも手元が不安定であったので、これも改善の必要性を感じた。



普通のはさみ

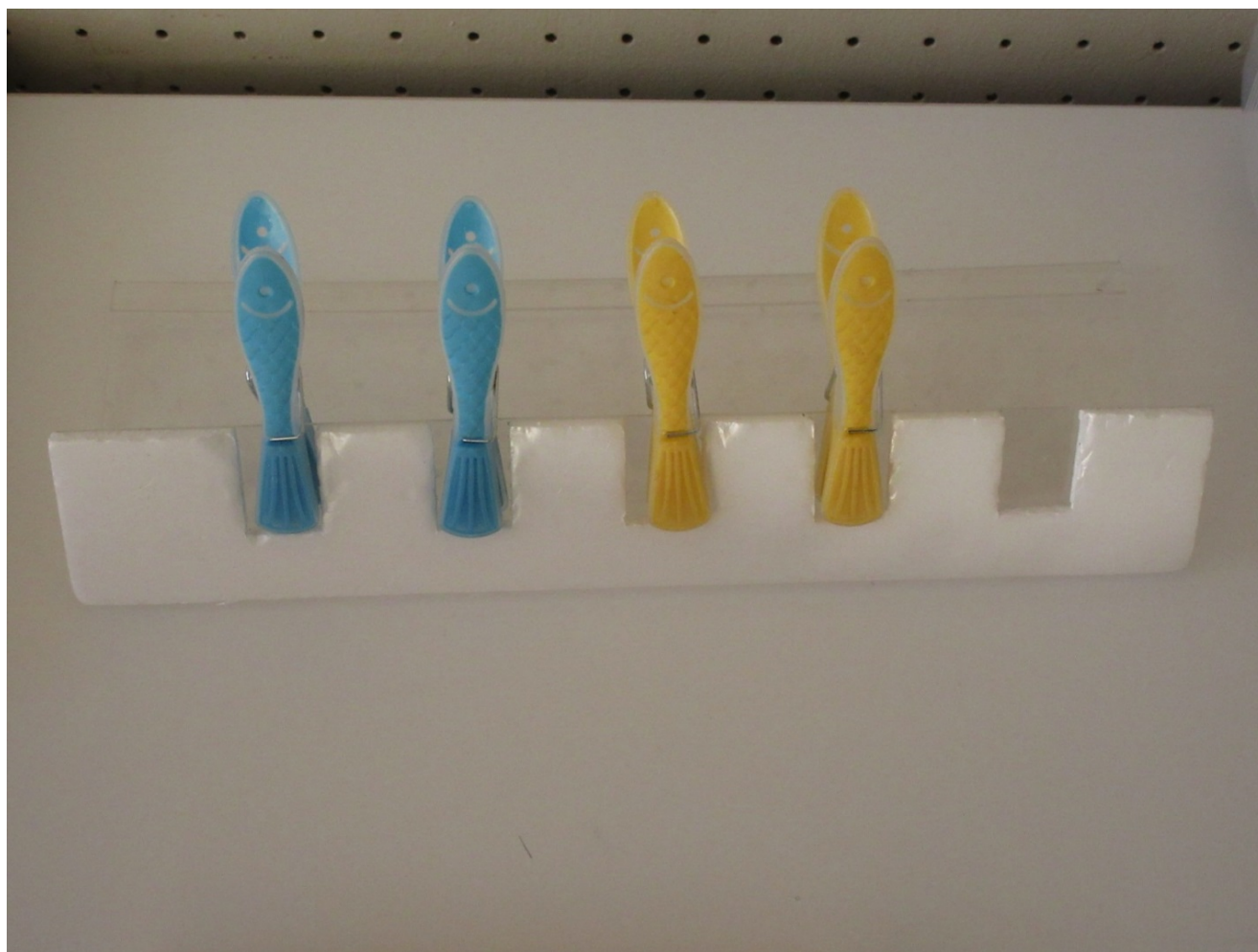


使用したはさみ（写真などをコルクボードにはさむもの）



教材教具名	洗濯ばさみをはさむ	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・透明な部分に洗濯ばさみをはさむ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・洗濯ばさみとプラ板を分けておく。
- ・プラ板の透明な部分に洗濯ばさみをはさむ。

<工夫点>

- ・はさむ部分が変わりやすいように、それ以外の部分はパネルを貼った。

<効果>

- ・プラ板をよく見て透明な部分に洗濯ばさみをはさむことができた。

教材教具名	洗濯ばさみ	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・へこんでいる、色のついている部分に着目し、洗濯ばさみをはさむことができる。</li> <li>・手指の巧緻性を高める。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・洗濯ばさみを利き手で持つ。
- ・紙皿のへこんでいる部分に着目し、洗濯ばさみをはさむ。

<工夫点>

- ・注目する部分がわかりやすいよう、色をつけた。
- ・洗濯ばさみを挟む部分にへこみをつけ、触って確認できるようにした。

<効果>

- ・徐々に注目する部分がわかり、指定の位置にはさめるようになった。

教材教具名	ボタンの差し込み	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手元の注視</li> <li>• 手指の巧緻性</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- ボタンをつまみ、正しい向きで穴に差し込む。

<工夫点>

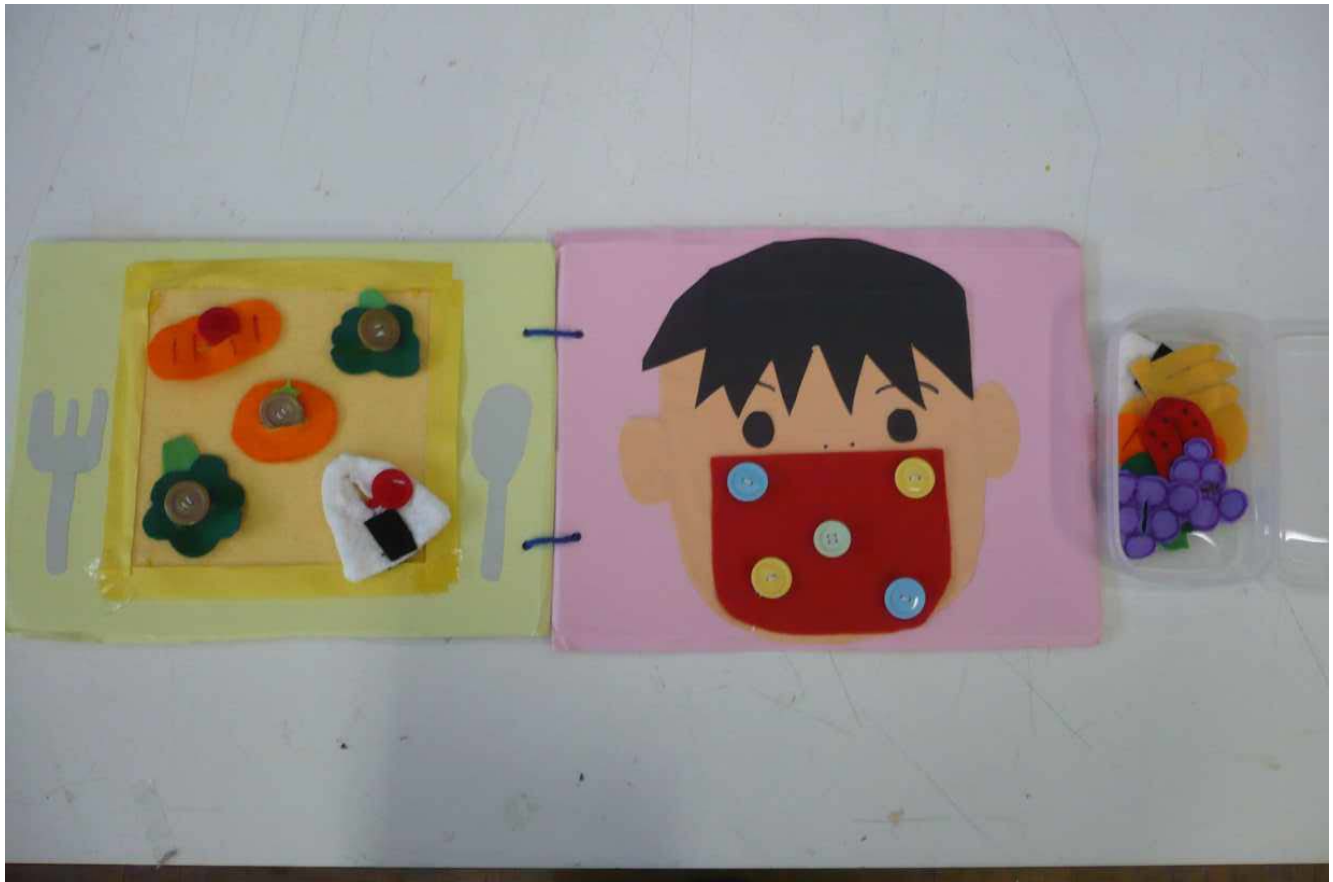
- 手の感覚だけではできないように、しばらくしたら位置や向きを変える。

<効果>

-  容器の底からゴムで引っ張っていることで、差し込んだ後にパチンと音を立ててボタンが入るのが好きなようで、集中して取り組んでいた。

教材教員名	ボタンの留め外し	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ボタンの留め外しを進んで行うことができる。</li> <li>• つけたいお弁当の具材を選択しミニチュアのお弁当箱や口へつけることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ①お弁当箱の面のみ提示し、好きな具材を選択しボタンを留める。
- ②お弁当箱と男の子の両方の面を提示し、お弁当箱のボタンを外す。
- ③外した具材を男の子の口のボタンを留める。

<工夫点>

- ボタンの留めはずしが簡単にできるように、ボタンにゴムや長いひもをつける。

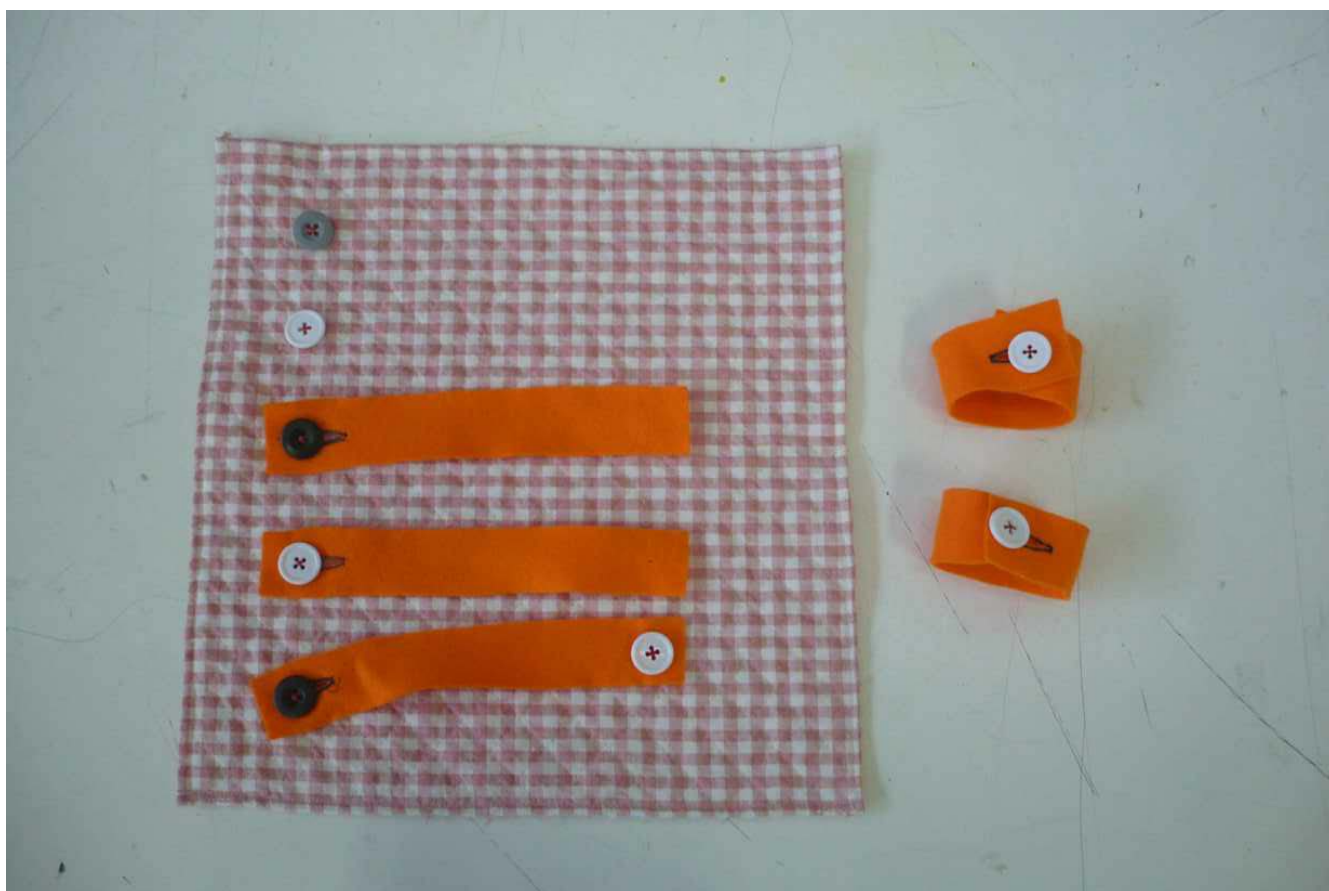
<効果>

- ごっこ遊びの好きな児童であったため、意欲的に取り組む様子が見られた。



教材教具名	ボタン外しつけ	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業的要素（手順の理解、2つ以上の工程数）</li> <li>• （手指の巧緻性）←器用な生徒のため、このねらいはおまけ程度。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- ボタンを布から取り外し、取り外したテープ状のフェルト布を丸めてとめる。とめたものはBOXへ入れる。

<工夫点>

- 伸縮性のある生地を利用したことでボタンのつけ外しにあまり負荷がかかりすぎないようにした。あくまでねらいは作業的要素を盛り込んだ課題！

<効果>

- 本当は、丸めた布をどんどんつなげて連なった状態で完成にしたかったが、（教室の飾りつけ等で作るもの ) その理解が難しかったので1つずつBOXに入れるよう変更した。

教材教具名	箸の練習 2	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リングに指を入れるタイプの練習箸を使ってビーズを枠の中に移すことができるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・器に入っているビーズをリングに指を入れるタイプの練習箸でつまみ、製氷皿に移す。

<工夫点>

- ・製氷皿は、ビーズがちょうど入る大きさのものにした。
- ・使う枠以外は紙でかくした。

<効果>

- ・枠を意識して入れられるようになった。また、空いている枠を探して入れられるようになった。

教材教員名	箸の練習 1	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・箸先を開閉させて物をつまむ		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）




<使用方法>

- ・左手におわんを持ち（食べる場面の想定＋利き手の確立）、おわんに入った消しゴムや小豆を箸でつまんで氷ケースに入れていく。

<工夫点>

- ・氷ケースの底を赤く塗り、入れたところと、そうでないところを分かりやすくした。
- ・消しゴムを油性ペンでカラフルにして見やすさ＋モチベーション。
- ・つまみやすい消しゴム（大・中・小）や小豆等で難易度を変えた。  
\*箸先を開かせるため、（色んな大きさの消しゴムが入ったお徳用袋：100円ショップ）消しゴムも大きめを用意。

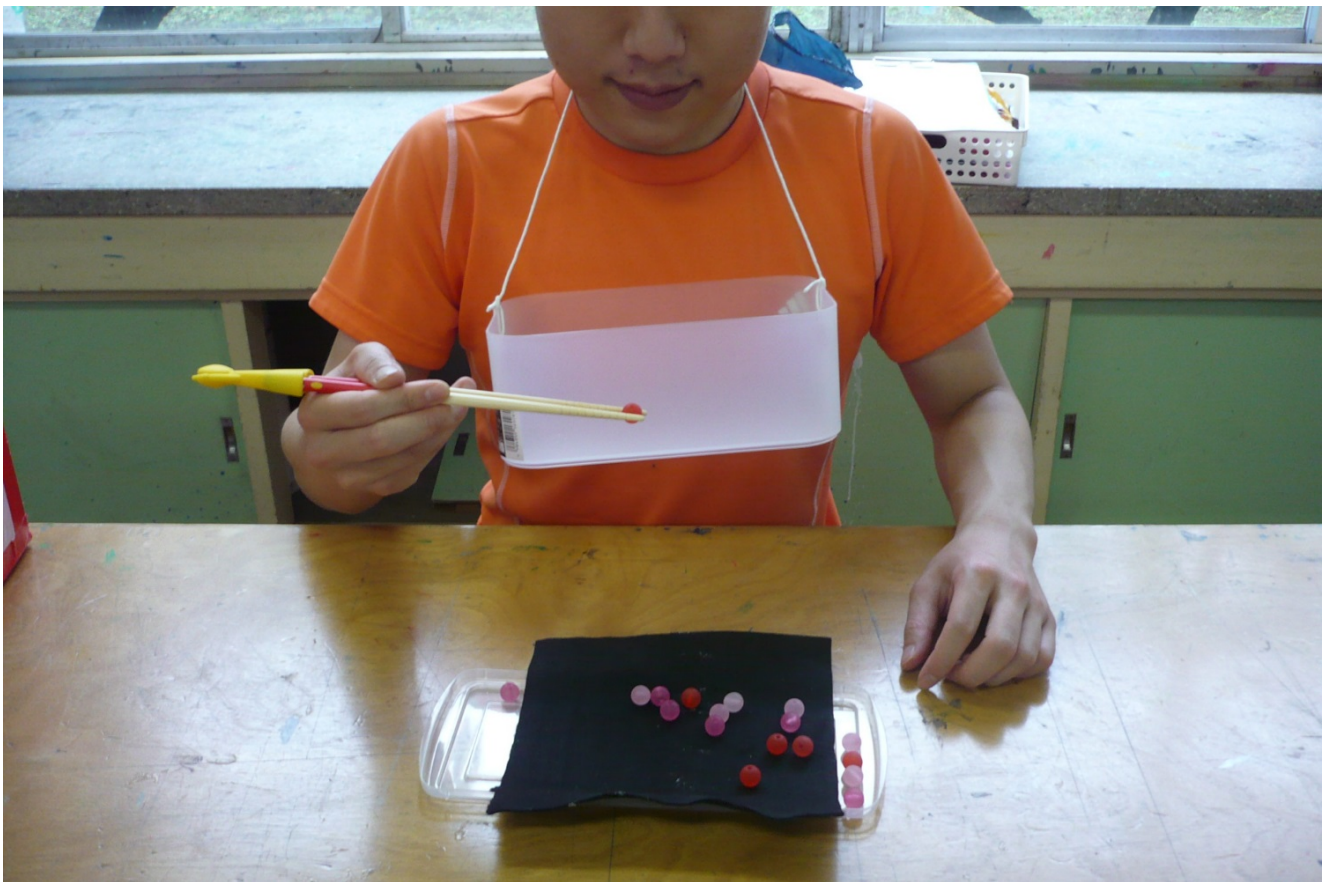
<効果>

- ・  ピンセットタイプの練習箸でスタートし、今は普通の箸で取り組めるまでできるようになった。消しゴムの向きをそろえたいという本人のこだわりもあり、自ら難易度を上げ、良い練習になっていた。



教材教具名	箸の操作	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>箸を使って指定されたものをつまむことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 箸でビーズをつまんで指定された場所へ移す。

<工夫点>

- 容器の上にフェルトを敷き、ビーズが転がりにくいようにした。

<効果>

- 箸を正しい持ち方で持ち、ビーズをつまみ上げて、自分の首にかかった容器に入れることができた。

教材教員名	ひもを結ぼう	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々なひもを蝶結びにすることができるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 結び目を解いてから、蝶結びにする。

<工夫点>

- 長さや太さが違うひもを用意し、場面によって応用できるようにした。
- 結べなかった際に自分で解けるように、結び目を解くところから設定した。

<効果>

- 今までより確実に蝶結びができるようになった。

教材教具名	ひも結び	分類	操作の学習 — より複雑な操作
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・2本のひもを1回結びすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・腰にエプロンを当て、色の異なる2本のひもを後ろで交差して前に持っていき、1回結びする。

<工夫点>

- ・ひもを赤と青に色分けし、交差させて赤をクルンと指示することによって、どちらのひもを動かせば良いか分かりやすくした。
- ・腰に当てるエプロンを用意したことで、脇を閉めながらひも結びができるようにした。

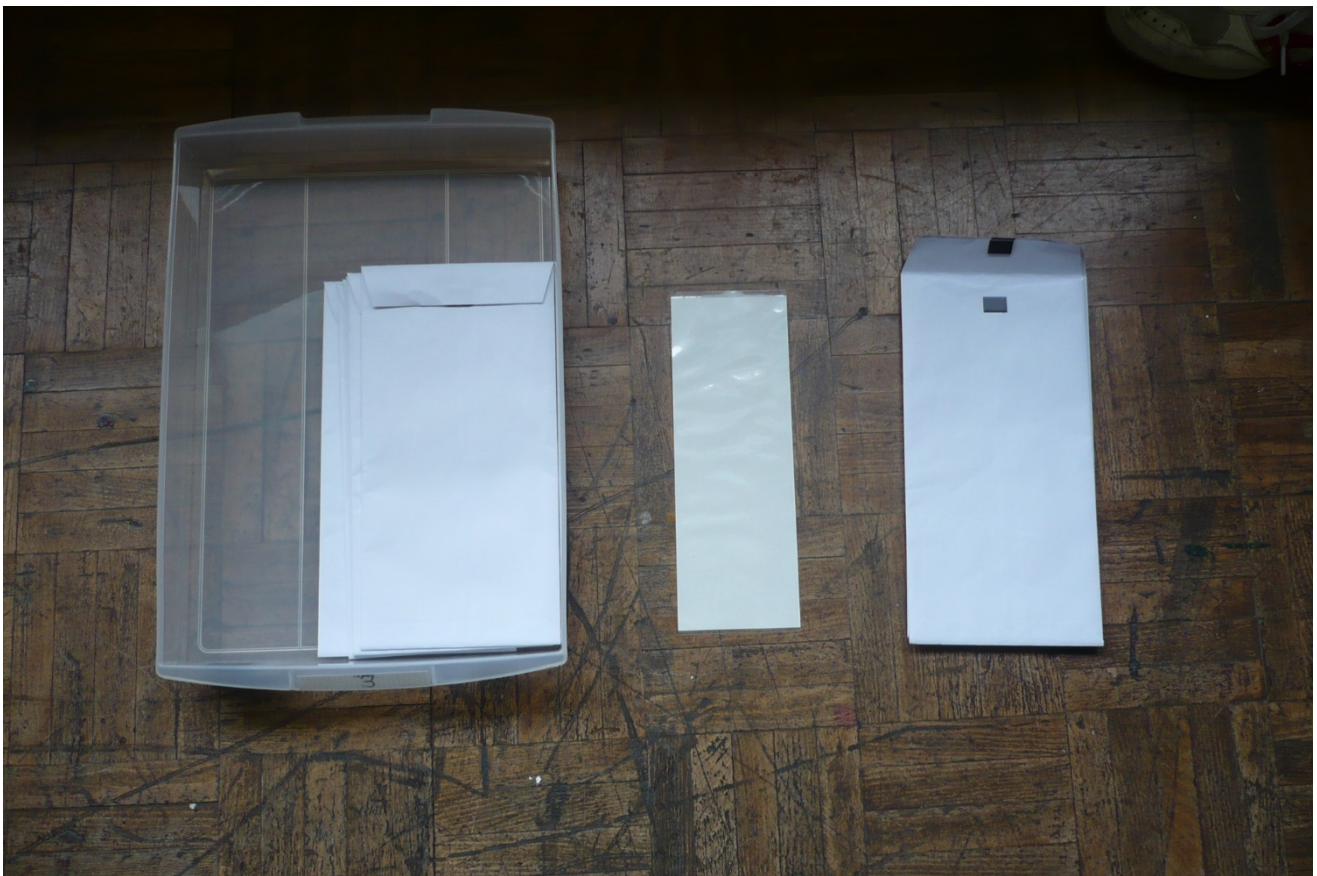
<効果>

- ・分からないときは教員にお願いして見てもらい、確認しながらひも結びをすることができた。



教材教員名	封筒入れ	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>封筒に紙を入れて封をすることができる。</li> </ul>		

教材教員の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 紙を封筒に入れ、封筒の口を折り、封をする。

<工夫点>

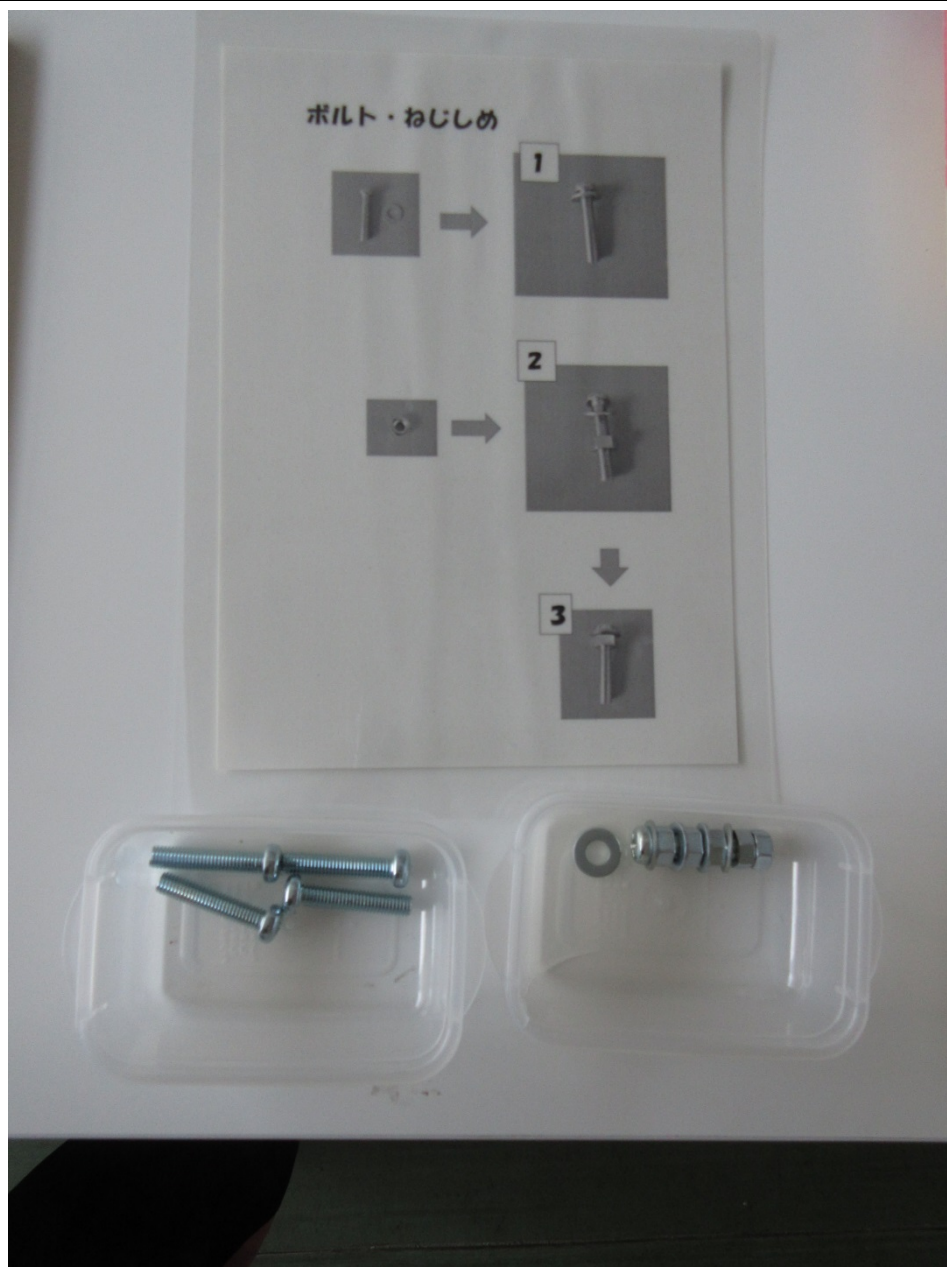
- ラミネートした紙を使い、封筒に入れやすくした。
- 封筒の口に磁石をつけ、のりが無くても封ができるようにした。

<効果>

- 封筒を左手に持ち、口を横にして紙を入れることができた。

教材教具名	ボルトのナットしめ 2	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手順書をみながら、3工程の作業ができる。</li> <li>• 手指の巧緻性を養う。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 手順書を見ながら、順番にねじをはめる。
- できたらピックマックで「できました」と報告する。

<工夫点>

- 手順書を用いたことで、自分で見通しを持ちながら作業をする練習ができる。
- 工程数を調整できる。

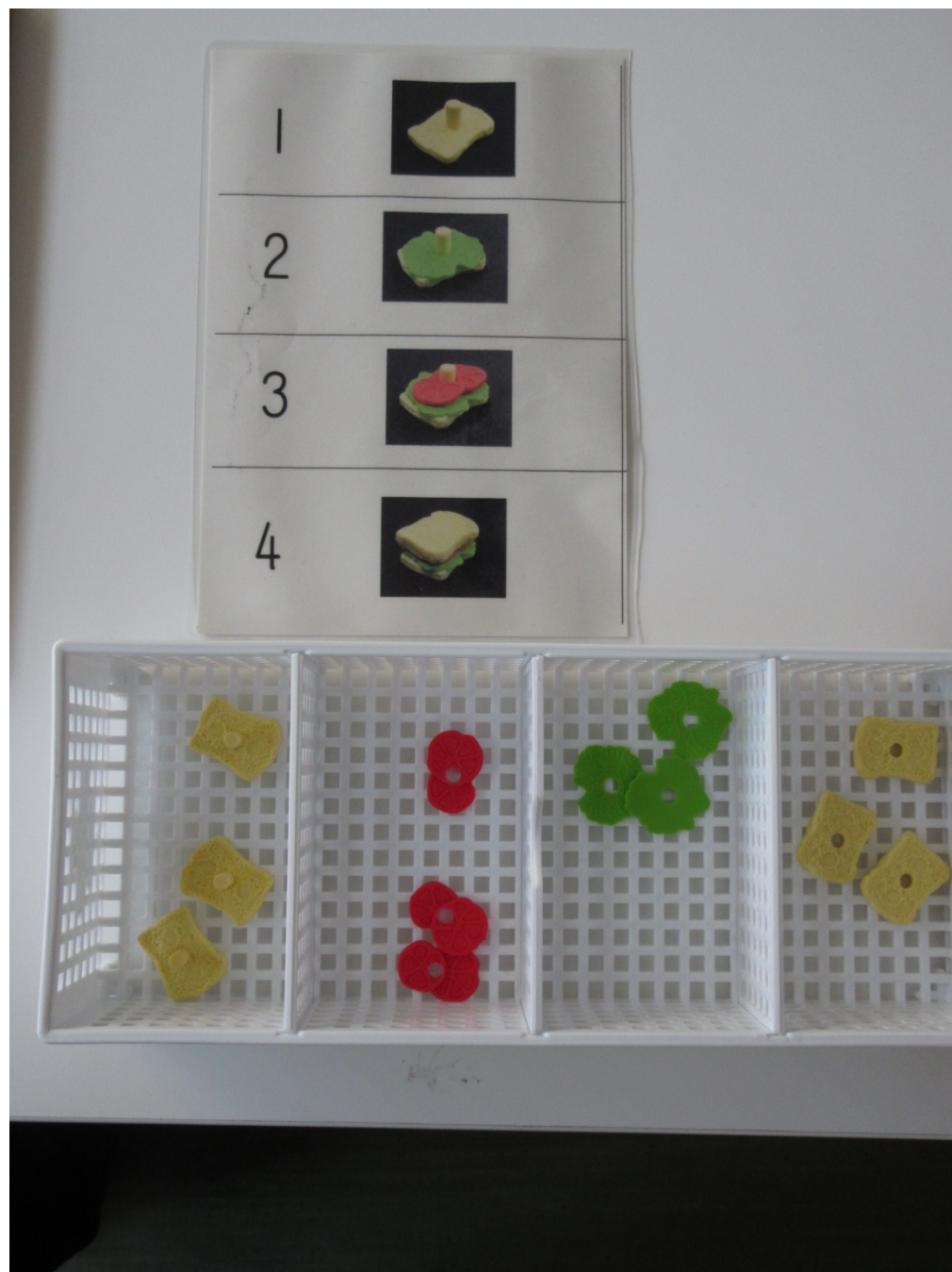
<効果>

- はじめて手順書を用いたが、ワッシャーとナットの順番など間違えずにできている。こうした学習を積み重ねて一人でできることを増やしていきたい。



教材教具名	ミニチュアの組み立て	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・手順書を見て、ミニチュアのサンドイッチを組み立てる。		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・各部品ごとに小皿に入れておく。
- ・手順書を見ながら組み立てる。

<工夫点>

- ・手順書で組み立てる順番がわかるようにした。

<効果>

- ・手順書を見ながら組み立てることができた。

教材教具名	クリップ留め	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	個別課題※国語算数相当 (小学部)
ねらい	・紙をまとめてクリップで留めることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・赤・黄・青の順に紙を上から重ね、クリップで留める。

<工夫点>

- ・クリップを留める位置と指で押さえる位置をシールで示し、分かりやすくした。
- ・すべて留め終わったら教員を呼び、「できました」と報告するようにした。

<効果>

- ・紙を3枚まとめ、トントンとそろえてから、シールを手がかりにしてクリップで留めることができた。



教材教具名	袋詰め（色のマッチング）	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	個別課題※国語算数相当（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定されたものを指定された袋に入れて仕分けすることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 袋に貼ってあるシールの色を確認し、同色のクリップを袋に詰める。

<工夫点>

- 袋を閉める際に袋を机に置くことで、口を指で押さえて封をしやすくした。

<効果>

- シールの色を確認しながら同色のクリップを袋につめることができた。

教材教具名	懐中電灯の組み立て	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後までネジを締めることができる。</li> <li>・自分でできたか確認することができる。</li> <li>・左から順に組み立てることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・懐中電灯の部品を組み立て表にはめこみ、順番に組み立てていく。
- ・組み立てた後、点灯するか自分で確認する。
- ・4本組み立てる。

<工夫点>

- ・最後までネジを締めないと点灯しないため、最後まで集中して行うことができる。
- ・完成したかどうか、自分で確認することができる。

<効果>

- ・1人で4本確認した後、教員を呼ぶことができるようになった。
- ・最後まで締めなかったネジを、最後まで締めるようになった。

教材教員名	物の分類・袋詰め	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立って行う作業に慣れる。</li> <li>・袋にいくつ入れるか理解する。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ロッカーに置いたかごにスプーン、フォーク、おしぼりを入れる。（マッチング、弁別）
- ・弁別したスプーン、フォーク、おしぼりを見本と同じ数になるように入れ、チャックをしめる。

<工夫点>

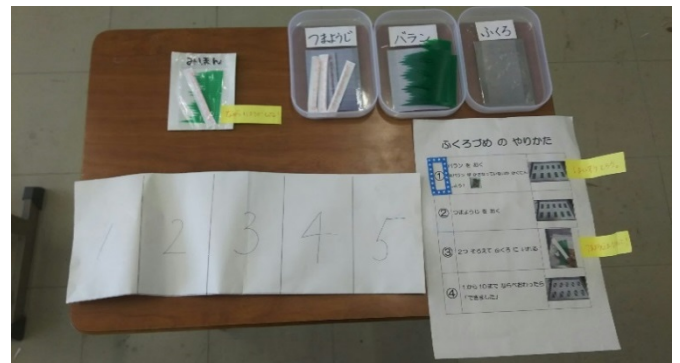
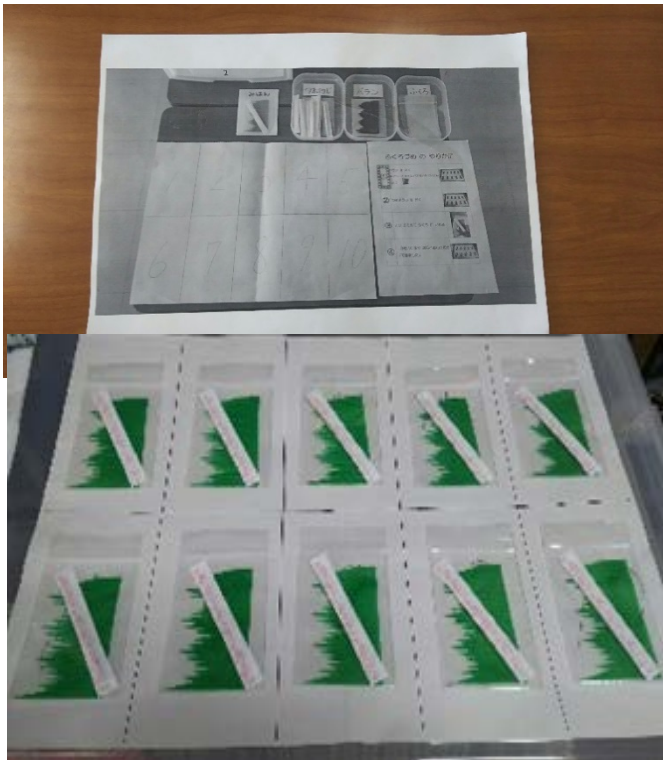
- ・ロッカーを使うことで、立って作業することができるようにした。
- ・チャック付きの袋にすることで指先の巧緻性を高めることができるようにした。

<効果>

- ・机上学習だと眠くなりやすい生徒も寝ることなく取り組むことができた。

教材教具名	袋詰め	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	国語数学（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手先に注目して作業する。</li> <li>• 手順表やプリントなどの視覚教材を手がかりにして、一人で作業をやり遂げる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 写真を見て、机の上に教材の準備をする。
- 準備ができたなら、手順表やポイント（黄色の付箋）を参考にしながら袋詰をする。
- 1～5までの数字が書かれたシートに1つずつ並べ、完成したら報告する。

<工夫点>

- 1人で作業の準備から片付けまでやり遂げられるよう、視覚の手がかりを多く取り入れた。
- 徐々に気をつけるポイントを増やしていくことで、手先に注目する時間を伸ばすようにした。
- 教材をわざと足りない状況にしておくことで、質問する機会を作った。

<効果>

- 学習し始めの頃は手順を1つ進めるごとに確認を求めてきたが、慣れてくるとすべて1人で取り組むことができるようになった。
- 手先をよく見て、集中して取り組む時間が長くなった。



教材教具名	ボールペンの組み立て	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・作業的課題		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・①②③と順番に部品を取り、ボールペンを組み立てていく。

<工夫点>

- ・左から右へ流れるような手順にしたが、本人のこだわりで順番をとばして組み立てができないということが起きたため、番号を書いたシールをはった。
- ・底面の色をかえて部品を見やすくした。

<効果>

- ・番号を書いたシールをはったところ、順番のミスがなくなった。課題カードで番号を使ったため、数の順番の理解度も上がっていた。

教材教具名	ブロックの組み立て	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	・色や配置など、完成図を見て正確に組み立てる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・ブロックを色ごとに分け、完成図を見て組み立てる。
- ・一つずつ袋に入れ、終わったら報告をする。

<工夫点>

- ・将来の作業場面で生かせるように、あえて袋に入れる課題を取り入れた。
- ・ブロックの色を間違えないように色ごとに分けるようにした。

<効果>

- ・色ごとに分けることで、間違えることがほとんどなくなった。

教材教具名	カードリング通し（色の弁別）	分類	操作の学習 — 工程のある作業
		授業名	個別課題※国語算数相当（小学部）
ねらい	・簡単な指示書を見て、学習に取り組むことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・リングに色のついたネームホルダーを、指示書の順番通りに通していく。

<工夫点>

- ・1人で開閉できるように、プラスチックのリングを使用した。
- ・指示書は回数を重ねていくにつれ、写真→イラスト→文字と移行した。

<効果>

- ・一人で指示書通りに完成させることができた。

教材教具名	車椅子清掃 手順書	分類	操作の学習 - 工程のある作業
		授業名	現場実習（校内）（高等部）
ねらい	・視覚教材を手がかりにして、一人で作業をやり遂げる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・紙を1枚ずつめくって手順をたどり、車椅子清掃をする。

<工夫点>

- ・写真を大きくして、掃除する場所を分かりやすくした。
- ・車椅子の全体図を右下につけることにより、「車椅子のどの部分を掃除しているか」意識できるようにした。

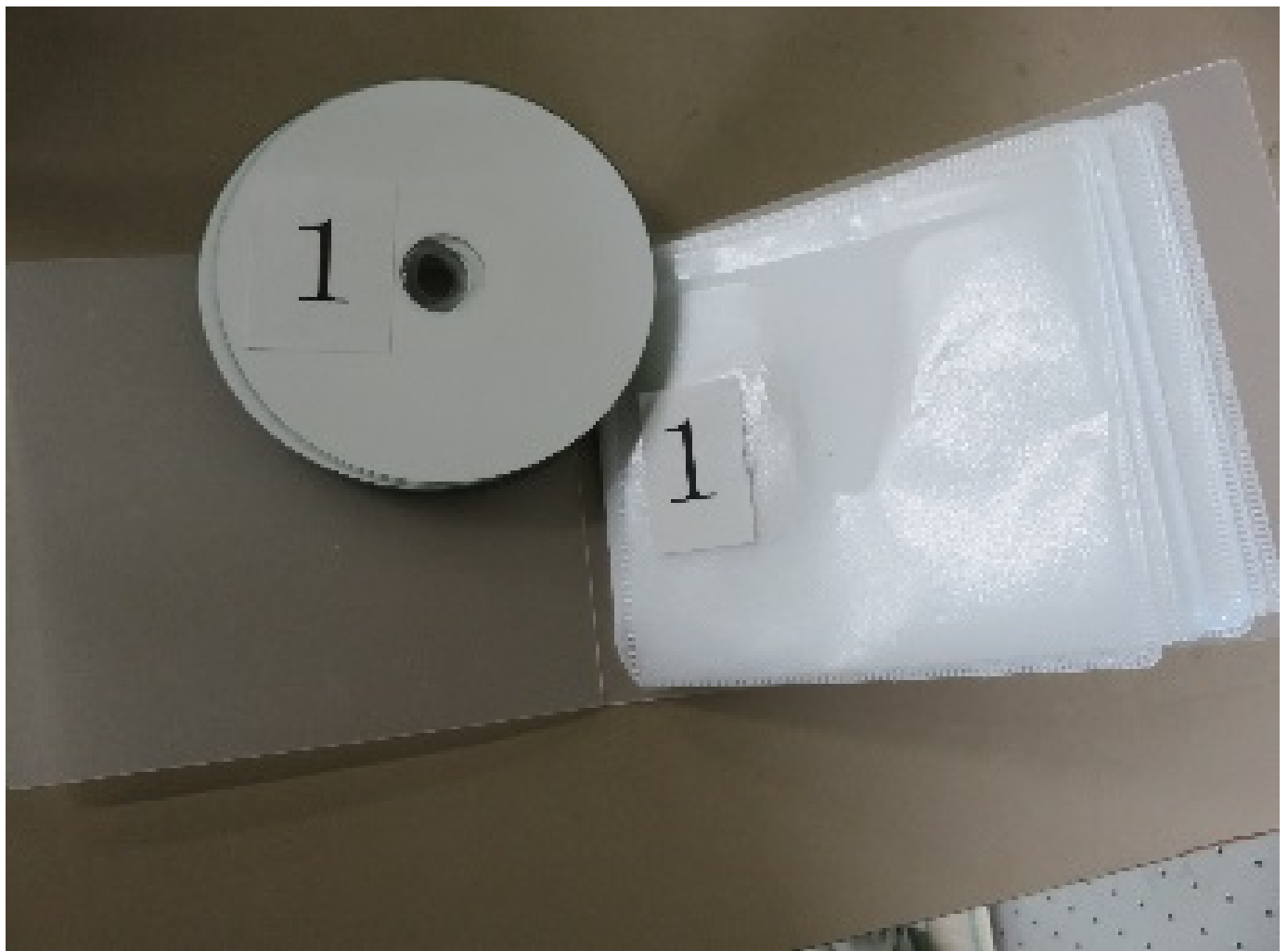
<効果>

- ・実物と写真を見比べて、手順通りにたどって掃除をする姿が見られた。
- ・この手順書で清掃が難しい生徒は、正面、横①、背面、横②の4回に分けて、使う道具のみ手順書を見て掃除を行った。



教材教具名	CD ケース入れ	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 前から順番に CD をケースに入れることができる。</li> <li>• 数字に着目し、同じ数字の場所に CD を入れることができる。</li> <li>• 両手で違う動作をすることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- CD ケースに CD を入れる。
- 袋と同じ数字の CD を確認し、入れる。

<工夫点>

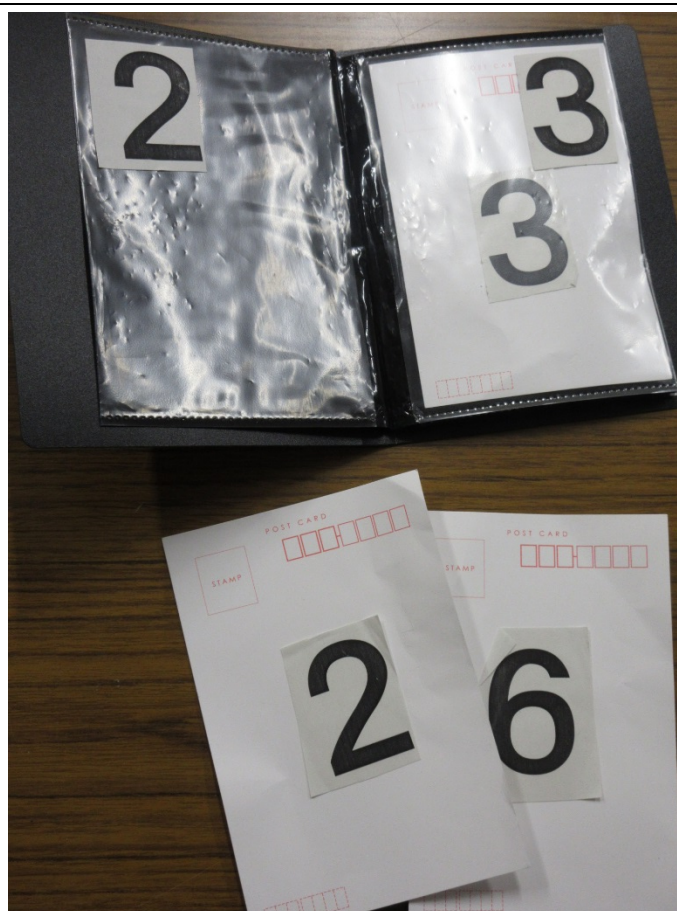
- ケースの左側の収納部分を外し、1 点に注目できるケースを使用した。
- 前から順番に入れると同時に数字を読む練習も行った。

<効果>

- バラバラに入れていたが、徐々に前から順に入れることができるようになった。

教材教具名	はがき入れ (数字のマッチング)	分類	記号の学習 - 文字数字を扱う作業
		授業名	国語・数学 (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• はがきを同じ数字の枠に入れることができる</li> <li>• 数字に注目して正しい向きにはがきを入れることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- はがきを同じ数字の枠に入れる。

<工夫点>

- はがきを最初は順に入れ、前から入れればOになるようにしたが、慣れてきたら数字の順をバラバラにし、数字に注目しないとOにならないようにした。

<効果>

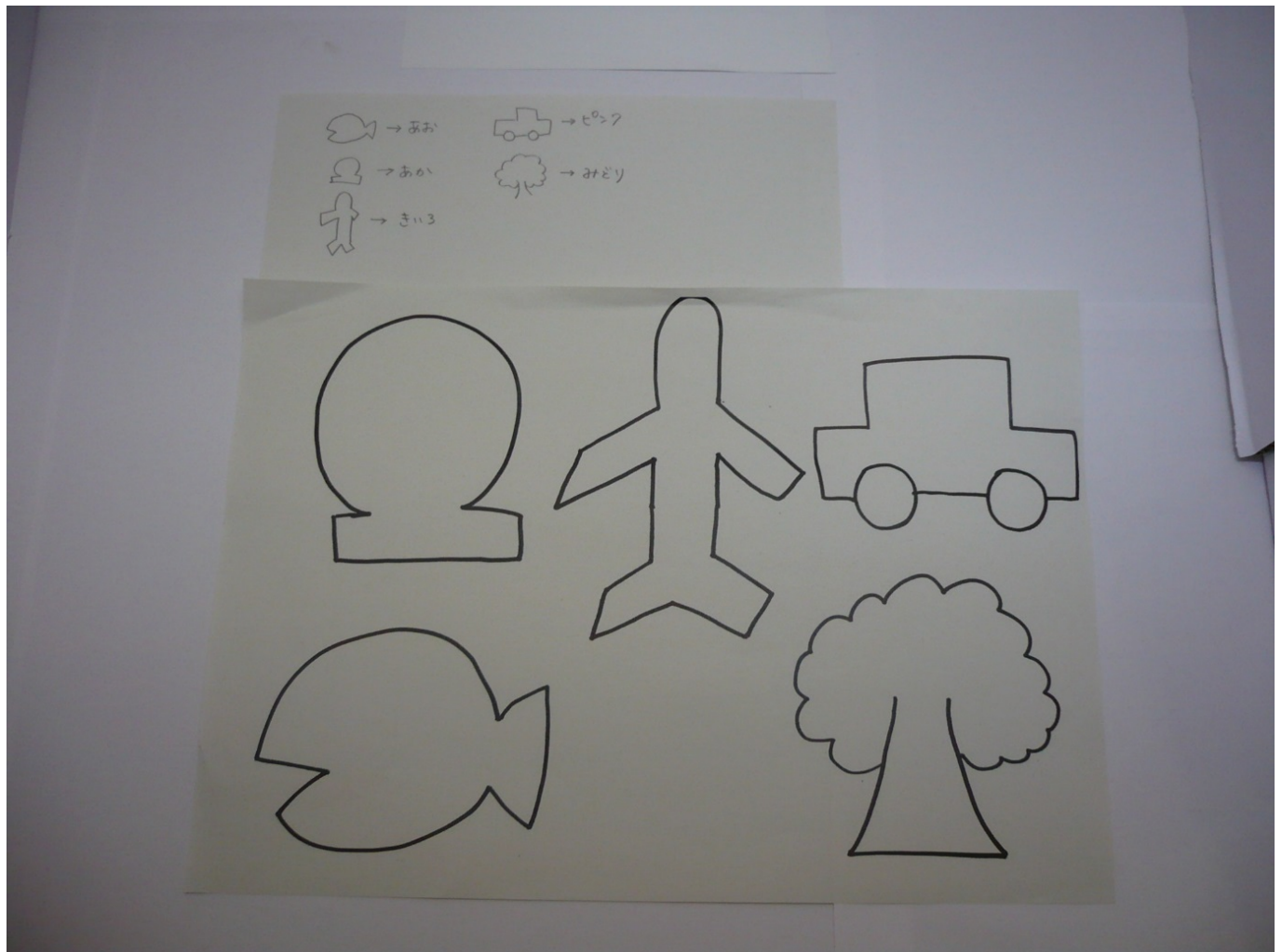
- 数の順番がバラバラでも正しい順に入れることができるようになった。

教材教具名	文字と色のマッチング（色塗り）	分類	記号の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題※国語算数相当（小学部）

ね  
ら  
い

- 用紙の図形の中に色を塗ることができる。
- ひらがなで書かれた色名を読むことができる。

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 用紙の図形の中に書かれた色名と同じ色のペンで、枠内に色を塗る。

<工夫点>

- 始めは色名カードを用意し、徐々に色名カードをなくした。

<効果>

- 色名カードがなくても、ひらがなで書かれた色名を理解し、枠内に色を塗ることができるようになった。

教材教員名	キャップ閉め（色の弁別）	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	個別課題※国語算数相当（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手指の巧緻性を高める。</li> <li>• 色の弁別ができるようになる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ① 同じ色のしょうゆ差しとキャップを選び取り、キャップを閉める。
- ② それぞれ色の名前が書かれたケースに入れる。

<工夫点>

- ケースの色の提示について、読字ができる児童には文字で、読字が難しい児童には色画用紙で提示した。

<効果>

- 段階の多い課題だが、はじめは1工程ずつ一緒に行うことによって方法を理解し、一人で取り組むことができるようになった。



教材教具名	キャンディの袋詰	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	国語数学（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 作業的課題</li> <li>• 指示（色指定）の理解</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



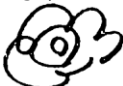
<使用方法>

- プラスチックバッグを取り出し、そこに貼らせたシールの色や個数通りにキャンディーを入れて閉めてBOXへ入れる。

<工夫点>

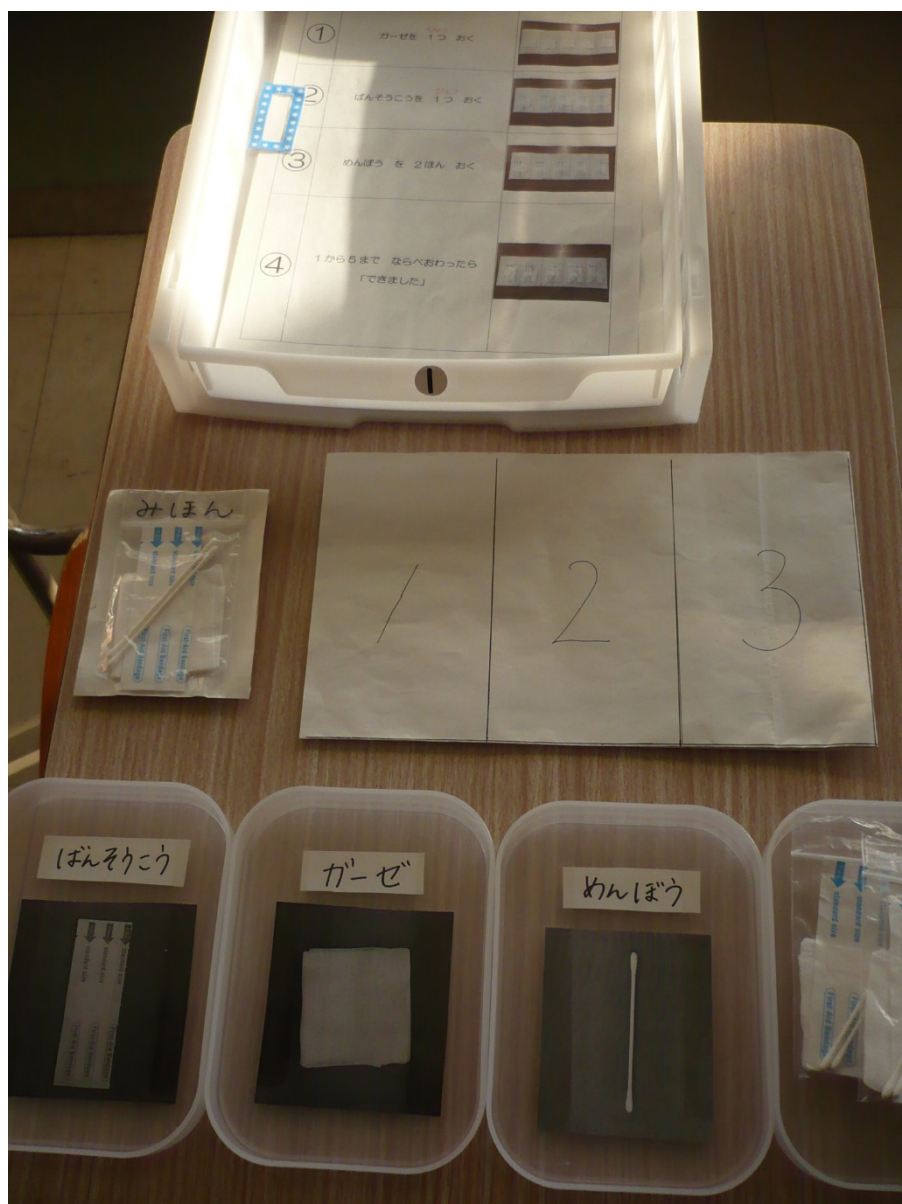
- キャンディー風の教具にしたことでモチベーションを上げる効果をねらった。
- プラスチックバッグを選ぶ…というこだわりが始まったため、課題に専念できるようにフタをした。

<効果>

-  とてもよく取り組めた。

教材教員名	袋詰め	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	現場実習（校内）（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 手先に注目して作業する。</li> <li>• 手順表やプリントなどを手がかりにして、一人で作業をやり遂げる。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 写真を見て、机の上に教材の準備をする。
- 準備ができたなら、手順表やポイント（黄色の付箋）を参考にしながらふくろづめをする。
- 1～5までの数字が書かれたシートに1つずつ並べ、完成したら報告する。

<工夫点>

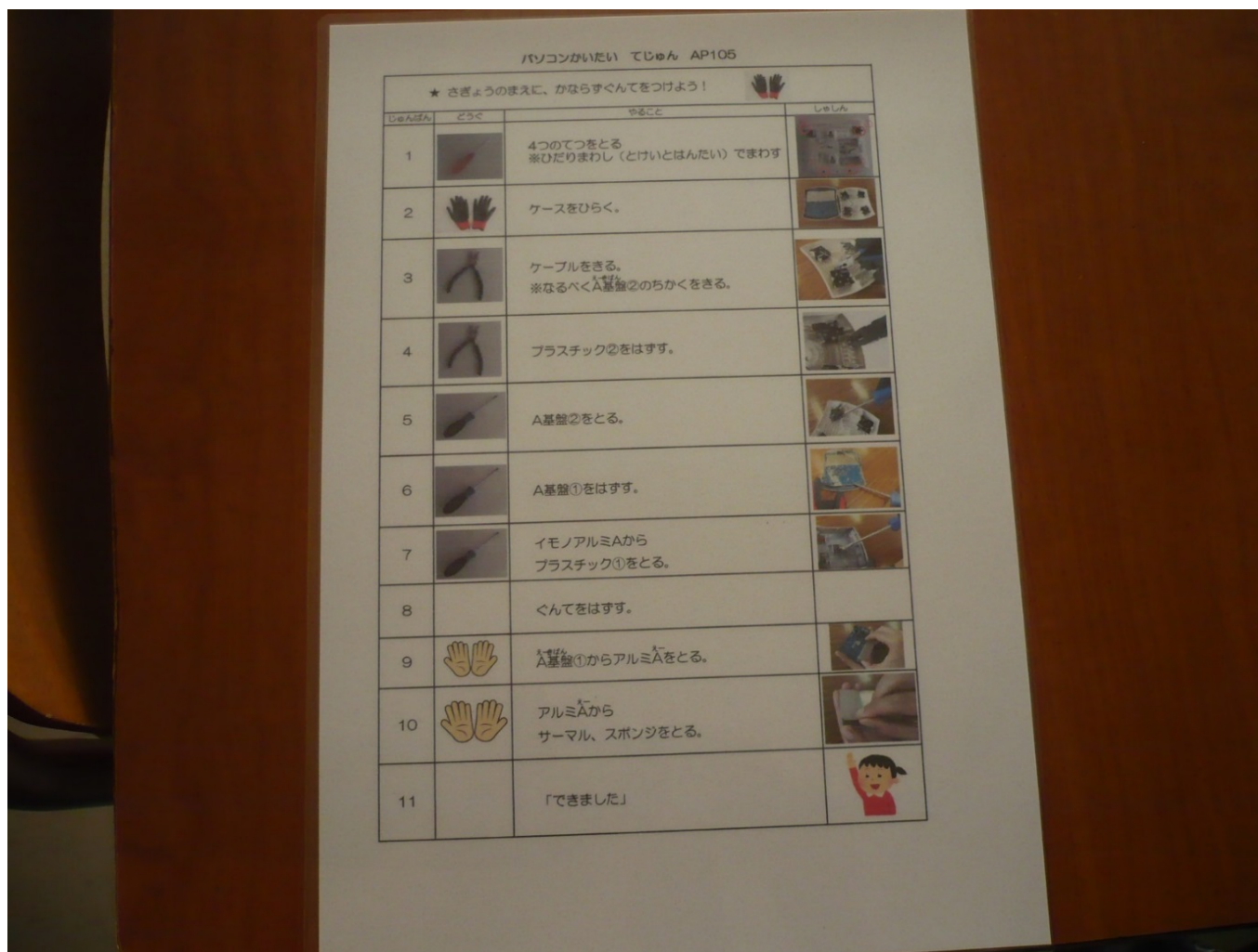
- 1人で作業の準備から片付けまでやり遂げられるよう、視覚支援を多く取り入れた。
- 徐々に気をつけるポイントを増やしていくことで、手先に注目する時間を伸ばすようにした。
- 教材をわざと足りない状況にしておくことで、質問する機会を作った。

<効果>

- 学習し始めの頃は手順を1つ進めるごとに確認を求めてきたが、慣れてくるとすべて1人で取り組むことができるようになった。
- 手先をよく見て、集中して取り組む時間が長くなった。

教材教員名	PC 解体 手順書	分類	操作の学習 — 文字数字を扱う作業
		授業名	現場実習（校内）（高等部）
ねらい	・手順書を手がかりにして、一人で作業をやり遂げる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手順をたどりPC解体をする。

<工夫点>

- ・1つの手順につき、使う道具の写真・説明・場面の写真をセットにすることで、生徒の取り組みやすさに繋がるようにした。

<効果>

- ・写真と説明の並べる順番を工夫したことにより、道具を持って説明を読み、作業に取り掛かるというスムーズな流れを作ることができた。